

小学生新聞

きょうの紙面

■こどもテレビガイド	2
■パンパン川柳／俳句王	4
■楠木誠一郎の日本史〔曲亭馬琴〕	5
■妖怪穴〔のっぺら坊〕	6
■江戸のくらし〔屋台〕	7
■走れ！毎小特派員	8

毎日小学生新聞編集部
 お便り 〒100-8051(住所不要)
 電話 03・3212・3274
 ファクス 03・3212・2591
 メール maishou@mainichi.co.jp
 発行所 毎日新聞社◎
 東京本社 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
 定価 1か月1430円(1部60円)

同時に笑顔の傘開く
 今月4日、中国の上海万博会場と東京・渋谷で、地震被災地で生きる子どもたちの笑顔をプリントした傘100本ずつを同時に開くイベント「メリー・アンブレラ・プロジェクト上海万博×渋谷」がありました。傘にプリントされた笑顔は、アーティレクターの水谷孝次さん(59)が、中国・四川大地震被災地の綿陽、インドネシア・スマトラ沖大地震、阪神淡路大震災などで撮影したものです。
 渋谷では学生たちの手で100本の「笑顔の傘」が咲き、上海でも中

2000年以上続く深い関係



上海万博会場と、東京・渋谷で、世界の被災地の子どもたちの笑顔をプリントした傘が同時に開かれました

農民歌舞伎 あでやかに



福島県奥会津地方の山里、檜枝岐村の神社で12日夜、江戸時代から伝わる「檜枝岐歌舞伎」が上演されました。写真。小雨の中、約500人が260年以上の歴史がある庶民芸術を楽しみました。
 檜枝岐村は人口700人弱の、日本一人口密度が低い山村です。尾瀬の福島側の入り口にあたり、平家の落人伝

祭
 日本福島 檜枝岐歌舞伎
 説などでも知られます。歌舞伎は江戸時代、伊勢参りの途中に江戸で歌舞伎を見た村民が見よう見まねで村に伝えたのが始まりとされ、農民たちが祭りの奉納歌舞伎として伝承してきた行事です。

国と日本の学生100人が参加して、たくさん笑顔が万博会場を彩りました。時報を合図に、渋谷と上海で同時に鈴を鳴らしました。日中の輪が和へと広がりました。

係は1945年の終戦まで続きました。影響は戦後も残ります。70年の大阪万博当時、両国は国交がなかったため、中国パビリオンには「中華人民共和国」ではなく、台湾が「中

今やアメリカと肩を並べるほどの大国になった中国。上海万博は、日本と中国の間になんか新しい道を示してくれるのでしょうか。(おわり)



上海万博が開かれている中国。日本と中国は対立した時期もありましたが、昔も今も深い関係です。古代には優れた技術や制度をもたらしたし、現在は日本の最大貿易相手国。万博では両国の深い関係も紹介されています。(篠口純子)

中国と日本との関係は、2000年以上も前にさかのぼります。中国から伝わった鉄や米、漢字や仏教によって日本の文化は豊かになりました。630年から派遣された遣唐使は、当時の首都だった長安(今の西安)で政治や文化を学び、長安を手本にして710年、平城京が誕生。唐にならって最初の法律ができ、国家体制がかたまりました。中国はずっと、日本の先生だったのです。

「ジャパンデー」に 日本から遣唐使船到着
 上海万博では、こうした日中関係を紹介する展示やイベントも予定されています。6月12日の「ジャパンデー」には、平城京遷都1300年を記念して再現された遣唐使船が上海に到着します。

華民国」として参加しました。国交が正常化したのは72年の日中共同声明。その時、記念に贈られたパンダは、日中友好の証しとなりました。現在では経済的な関係が深まっています。私たちの身の回りの電気製品や衣服は、中国製であふれています。2008年に起きた薬物キョーザ事件も両国の依存関係を象徴しました。07年には、ずっとトップだったアメリカを抜き、中国が日本の最大貿易相手国となったのです。